

イベントレポート

## あすもの Hack Day

～ あした笑顔になれるものを

リアルに作り上げてみませんか～

Make + Re:Make あしたのものづくり

富士通株式会社

## 開催概要

### タイトル

あすもの HackDay

～ あした笑顔になれるものを

リアルに作り上げてみませんか?～

Make+Re:Make あしたのものづくり Vol.3

### 概要

これからのよりよい社会や暮らしのためにヒトとヒトが刺激し合い、今あるテクノロジーから今までになかった価値や可能性を探究することを目指す共創・協働型イベント(ハッカソン)。

誰かが笑顔になれる あったらしいね! それおもしろいね! が生まれるモノやサービスを指定の提供技術を使ってチーム毎に企画、プロトタイピングを行い、プレゼン・デモにて競い合いました。

### 日時・場所

DAY1(アイデアソン)

2014年4月20日(日) 14時～17時 (原宿)

DAY2(ハッカソン)

2014年4月27日(日) 10時～18時 (品川)



### 提供技術

#### ・AR(拡張現実)

AR マーカーにスマートデバイスをかざすだけで、必要な情報を現場のモノに重ね合わせて表示

#### ・センサーネットワーク

センサー、カメラ、無線などを組み合わせスマホ/タブレット/PC からモニタリング出来るセンサーネットワークツール

#### ・ScanSnap/PFU

スマートフォン/タブレット、クラウドサービスとも連携できるドキュメントスキャナ

### (参考)各技術の情報

#### ・AR

Interstage Processing Server [富士通]

<http://interstage.fujitsu.com/jp/arprocessserver/>

#### ・センサーネットワーク

鹿児島県の茶畑を変えたパーソナルファブリケーションプロジェクト「カモ」の挑戦 [あしたのコミュニティーラボ]

<http://www.ashita-lab.jp/special/1326/>

原理と現場をつなぐ、大切さを伝えたいー 釧路高専「カモ」ワークショップ [あしたのコミュニティーラボ]

<http://www.ashita-lab.jp/special/1472/>

#### ・ScanSnap

ScanSnap SDK ご紹介 [富士通]

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/sdk/info-sdk.html>

## イベントの内容

### アイデアソン

#### 技術解説

ブリーフィングの後、3つの提供技術(AR, センサーネットワーク, ScanSnap SDK)をレクチャー



#### アイデアの抽出～チームビルディング

次のプロセスでキーワードからアイデアへ発展させていきました。

1. 自分がしあわせと感じた瞬間のキーワードを抽出
2. 抽出したしあわせのキーワードから他人にも感じて貰えるアイデアを検討
3. 同じテーブルのメンバーでシェアし他人の知見を獲得
4. アイデアのブラッシュアップとそのアイデアのポイントを明確化
5. アイデア(紙)を持ってテーブルを離れ、チームメンバー探しを実行



### ハッカソン

#### 開発

アイデアソンからハッカソンまでの1週間に、メンバー同士が連絡を取り合い企画化。6時間弱で各チームプロトタイピングとプレゼン資料の制作にあたりました。



## プレゼン/デモ

各チームの発表は次の通りです。

### 1. 「食がつなぐ PPK」(食をつなぐ PPK)

孤食の問題を切り口に単身赴任者が家族と遠隔で調理と食事を行えるコミュニケーションサービス。

デモは調理手順にそってスマートタブレットで調理器具のマーカールをかざすと、AR によってその手順の詳細を表示。



### 2. 「さけじてん」(チームのんだくれ)

お酒のラベルやお店の看板に AR マーカーを貼付することによって、DB から各種情報の表示 / 共有 / 入力を行い、各自の好みや利用シーンに応じて美味しいお酒を呑めるサービス。

その日の気温や湿度、天気などを考慮しておすすめを行う分析機能が特徴。



### 3. 「どうぞ!」(ブラック対策室)

生活残業や周囲に気づいてもらえない、帰れない雰囲気など残業なブラックな面を改善する定時退社励行ソリューション。

定時退社することでビールポイントが加算され、ポイントがたまるとビールが支給される制度。

ポイントは残業者にお裾分けでき、先に帰ることの罪悪感の軽減や薄給によってビールも飲めない状況を改善。

デモでは、残っている人が AR マーカーによって残業状況が把握できるもの。



### 4. 「電車でつながるみんなの笑顔」

#### (チーム Clarify)

電車という空間の繋がりに着目して新しい笑顔が生まれる価値創造に挑戦。

電車内に AR マーカー設定し、行き先に応じた統計的な有益情報(座れる可能性や/目的地の情報/キーワード分析)を表示や、その場に乘合せた乗客同士のコミュニケーションを生み出すことができるサービス



## 5. 「おでかけ安心トイレファインダー」 (はんぺん)

最寄りのトイレの地図や名称、ランクといった情報だけでなく、その時の混雑状況がスマートフォンなどで確認できるサービス。

実際にトイレに設置されたセンサーによりトイレのドアの開閉を検知し地図上のトイレアイコンの変化をデモ。



## 6. 「Two Ring Map」(みぼりんと愉快な仲間たち)

外出する事ができない長期入院患者のために、行くところが固定化してしまうサイクリストが代理訪問するサービス。

患者が行きたいスポットとエピソードを ScanSnap で登録し、そのエピソードを読んだサイクリストがスポットを選び、代理で訪問しスポットに割り振られた AR マーカーで感想を入力する仕組み。



## 表彰

### 審査員賞



長期入院患者とサイクリストのマッチングさせたコンセプトと AR や ScanSnap を使った実用性の高い仕組みが審査員に評価された

「Two Ring Map」(みぼりんと愉快な仲間たち)が受賞

### 優秀賞(参加者投票)



わかりやすいコンセプトと完成度の高いデモが参加者から評価された

「おでかけ安心トイレファインダー」(はんぺん)が受賞。

## 本ドキュメントについて

### 転載・流用について

本内容について許可無く文章や写真などの転載・流用、引用は非営利や営利を問わず行う事はできません。

### 免責事項

本ドキュメントは開催時点の記録であり、その内容や事実、正確性に、現在財の状況について保証するものではありません。

また、本ドキュメントを利用により発生したいかなるトラブルなどについて一切の責任を負いません。

### 商標・登録商標について

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。